

**2023年度 福岡デザイン専門学校
第2回「学校関係者評価委員会」報告書**

日時 2024年3月22日(金) 17:00~18:45

会場 福岡デザイン専門学校 1Fギャラリー

出席者 篠田 正浩(委員長) 救仁郷 友和(委員) 野呂 英俊(委員) 青野 香織(委員)
脇山 真治(委員) 武永 茂久(委員) (6名)

欠席者 石河 圭介(委員) (1名)

オブザーバー(学校教職員)

佐藤 俊郎・伊場 芳朗・中嶋 尚孝・田所 恵介・荒木 光信

瀧井 信一郎・大石 陽・毛利 丈寿・植村 明広(書記)

■議題: 福岡デザイン専門学校「2023年度自己評価表」に関する審議・評価

※資料「2023年度学校自己評価表」の各評価項目に対し、学校側よりその理由を説明後、委員からの質疑応答により、議論・再評価を行った。

- 1.教育理念・目的・育成人材像等
- 2.学校運営
- 3.教育活動
- 4.学修成果
- 5.学生支援
- 6.教育環境
- 7.学生の受入れ募集
- 8.財務
- 9.法令等の遵守
- 10.社会貢献・地域貢献
- 11.国際交流

■委員からの意見と学校からの回答

●基準1.教育理念・目的・育成人材像等について

委員の意見	学校の回答
「学園の理念」は常に同じではなく、時代の変化とともに、育成する人材像など変えていき、具体的に明示するべき。	検討します

●基準2.学校運営について

◎2-4・2-6・2-7「ほぼ適切」について理由を説明

委員の意見	学校の回答
「ほぼ適切」項目の「成果」に対して、全て「課題」を述べるべき	修正します

昨年と同じであれば、改善されていないということ、改善すべき	改善していきます
改善されていないことがあれば、2-8は「ほぼ適切」ではないか	検討します
今後の取り組みにある、短期講座の開設やパイロット的な実施について説明してほしい	使用していない夜間の学校施設の有効活用を検討しており、デザイン講習やパソコン講習など夏までに試験運用して、短期講座の開講を目指します 対応は、昼間の教職員とは別で対応します

●基準 3.教育活動について

委員の意見	学校の回答
学科名や単位数の変更など、昨年と変わったところがわかりづらい	修正します

●基準 4.学修成果について

委員の意見	学校の回答
4-3は、卒業生の情報が、教育活動にどう活用されているか記載すべき	修正します
特記「就職実績」は新規のみ赤色にしてほしい	修正します

●基準 5.学生支援について

◎5-5 「ほぼ適切」について理由を説明

委員の意見	学校の回答
退学率の全国的な傾向はどうか	分野によって違います、IT系は少なく、介護やクリエイティブ系は多い
情報共有はどの程度できているのか	常勤の教職員はできているが、個人情報がかかわることでもあり、非常勤講師に引継ぎは行っているが完全とは言えません 精神疾患などでありながら、報告しない学生も多い
面談の回数を増やしてはどうか	それすらもストレスになる場合があり、対応には苦慮している
甘えと本当の支援者の線引きが難しい 思い込みやそれを言い訳にする学生がいる	
学生への対応の時間で、教育に従事する時間が削られていることが気にかかる	

●基準 6.教育環境について

◎6-1 「ほぼ適切」について理由を説明

委員の意見	学校の回答
設備を十分な充足は難しいのか	スペース的に難しい、質の高い物への変更は考えられます

工業高校などの設備に劣ることは、PR や授業実施への影響はないのか	劣る分、質の高いデザインを制作することで補っています
-----------------------------------	----------------------------

◎6-3 「ほぼ適切」について理由を説明

委員の意見	学校の回答
学校図書の整理整頓を行ってほしい	行います

●基準7.学生の受入れ募集について

◎7-2 「ほぼ適切」について理由を説明

委員の意見	学校の回答
プロモーションの失敗か、営業活動の失敗か	教育内容が正しく伝わっていない、プロモーションの失敗だと考えています

●基準8.財務について

委員の意見	学校の回答
経営シミュレーションは、常に細かく行ってください	行います

●基準9.法令等の遵守について

- ・特になし

●基準10.社会貢献・地域貢献について

- ・特になし

●基準11.国際交流について

- ・特になし

◎その他、全体を通して、委員からの指摘

委員の意見	学校の回答
評価項目に対して、全て「成果」を記載すべき	修正します
「課題」「今後の改善方策」の文末が、適切な言葉になっていない箇所が多い	修正します
達成目標など、具体的な数値のあるものは、評価のため、提示してほしい	次年度以降、出来る限り提示します

■総括

2023年度「学校関係者評価委員会」は、第1回目を2023年10月10日に、第2回目を2024年3月22日に学校自己評価表をもとにより詳細な内容について審議を行った。

以上